

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己評価番号	出来ていない点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36-55	認知症を持つ人へのケアについて、職員それぞれの経験や研修で得た知見を元に真摯に取り組んでいるが、認知症ケア実践の質が各職員個人の経験や研修歴、人柄等により区々である。パーソンセンタードケアが共有すべき認知症ケアの理念、メソッドが曖昧である。	パーソンセンタードケアとユマニチュードを認知症ケアの理念と方法に位置付けて実践することにより認知症ケアの質の向上に努める。とりわけ後者の研修を積極的に受講して実践する。	1.パーソンセンタードケア、ユマニチュードについて学習、研修受講の機会を作る。 2. 認知症実践者研修を受講していない職員は同研修を受講する。 3. 各研修の成果を共有する。	10ヶ月
2	27,33	今後、どこで誰と過ごしたいか、口から食べられなくなった場合の対応、延命措置についての意向など、一部の利用者については本人、家族から思いを聞いている。ご利用者、本人、家族から意向、思いをきちんと聞き取り、記録し、それをもとにして今後のことを一緒に考えてゆくことができていない。	ACPを念頭に置いた本人、家族の思いを日常生活の中で汲み取りながら、記録し、本人、家族、職員間で共有できるようにする。	1. 本人との日頃の話の中から思いを聞き取れた場合は、支援記録に記入する。 2. 機会があれば家族からACPIに関わる意向を聞き取り、記録する。 3. 記録から、職員間でACPをめぐる具体的なケア、支援方法を協議してゆく。	10ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。